

豊川保健所について (2016年12月健康福祉委員会にて)

質問

今年6月の委員会にて質問したが、**昭和38年度建設され、53年経過し県内で最も古い保健所となっている**。平成32年度までに愛知県公共施設等総合管理計画にのり改修や、改築の時期を定め、建て替える必要性や利便性の高い建物になるよう調整するとの答弁だった。その後の動向について伺います。又、担当課として豊川保健所の問題点、課題等について、どう認識しているかを伺います。



再度、質問しました!

主幹答弁

豊川保健所は築53年経過、最も古く、老朽化も著しいという認識。また、保健所再編による職員の増加等に伴い、受付及び執務スペースが不足している。大会議室が無い、障害者用トイレが2階に設置され、利用する点で大小様々な改善すべき点を現状認識。



質問

会議室等手狭、基本的にスペースがない、2階へのエレベーターがない。こんな中で災害の時には保健医療の拠点として活動するための多くの問題が山積みしている。この点を再度認識し、今後のスケジュール、対応を伺います。

主幹答弁

平成27年3月策定の「愛知県公共施設等総合権利計画」に基づき、今年度、築40年以上の春日井、瀬戸、江南、津島、知多の5保健所の施設調査を実施した。今後この結果と昨年度調査の豊川保健所を併せ会議を行い、年度内に個別施設計画を策定する予定です。

大きなシミや亀裂が目立ちます



質問

豊川保健所は建設当時より、管轄地域は拡大し、技術、機能、時代も変わり、防災の点では大きな災害が起きた時には、医療保険活動の拠点として対応せねばならない。地元議員として現場の状況や地元の思いを代表して伝えていきます。その思いに対し、部局の姿勢を確認したい、保険医療局長に部局の姿勢を伺います。

局長答弁

豊川保健所の老朽化については、健康福祉部としても十分認識しており、今年度中には保健所の個別施設計画を策定する予定。**県民にとって利便性の高い施設となるよう、総務部と調整を進めて行く。**

藤原ひろき政策

政治は、誰がやっても同じではありません!

藤原宏樹

みなさまの声をぜひお聞かせください

お問い合わせ
藤原ひろき事務所 〒442-0857 愛知県豊川市八幡町横道93-1
TEL (0533) 56-8338 FAX (0533) 56-8321 E-mail:toyokawa_hiroki@yahoo.co.jp
県議会議員 藤原ひろきオフィシャルウェブサイト <http://fujiiwarahiroki.com> Facebookもやっています

県議会議員 自由民主党 愛知県議員団所属

藤原ひろき 動!

県政レポート Vol.13 2017年



東三河の道路整備とは

未来へつづく希望の光り。

東三河の道路について (2016年12月本会議にて)

質問しました!



質問

現在着手している幹線道路が整備されると、この地域の新たなまちづくり、新たな可能性が生まれます。企業立地も拍車がかかり働く場所・新たな雇用も確保できます。

そこで、事業着手している重要路線道路の名豊道路蒲郡バイパス東部区間、国道151号の一宮バイパス及び宮下交差点の立体化、及び東三河環状線の現状と今後について伺います。

建設部長答弁

名豊道路約72.7kmのうち、蒲郡ICから豊川為当ICの約9.1kmは未開通で、用地買収とともに、トンネルや橋梁の工事を進めています。用地の取得率は、9月末約9割に達し、工事は8月蒲郡の五井トンネルの貫通、10月には国坂トンネルの掘削に着手した。残る豊沢トンネルも年度内の工事発注が予定される。

151号の一宮バイパスは事業延長約7.9kmと長いため豊川ICからJR飯田線を越えて豊川市道までの約3.6kmを先行して整備。

宮下交差点の立体化は、交差点を越える0.8kmの道路橋で計画し、現在関係機関との協議、道路橋の設計を取りまとめ中。**来年度からの事業化に取り組み予定。**

東三河環状線は、豊川市及び豊橋市の市街地外周部を環状に結ぶ幹線道路で、市内の三蔵子工区約1.5kmは用地取得率が8割を越え、**渋滞緩和に効果のある東側約0.4kmの早期開通**を図っている。大崎工区約1.7kmは用地取得率が9割を超えている。豊川を挟んだ豊橋市石巻本町から市内当古町約2.4kmは今年度から用地買収等の事業実施。



2016年12月議会の質問で取り上げた
東三河のインフラ整備について
(国道23号バイパス・東三河環状線・国道151号バイパス)



現在整備中の状況



1 国道23号蒲郡バイパス
五井トンネル工事

工期 平成27年2月
～平成29年1月予定



2 国道23号蒲郡バイパス
国坂トンネル工事

工期 平成28年2月
～平成30年予定



3 国道23号蒲郡バイパス
豊沢広石道路建設工事

工期 工事専用道路
平成28年3月
～平成29年3月予定



4 国道23号蒲郡バイパス
為当IC

● 為当町バイパス本線の橋脚完成
平成28年9月



5 東三河環状線市田町下中野

● 市内大崎・三蔵子工区の用地取得率約8割を超え渋滞緩和に効果のある車側約0.4kmを早期開通



6 宮下交差点立体化

● 設計を取りまとめ来年度から事業化



7 国道151号一宮バイパス

● 豊川ICからJR飯田線を越えて豊川市道までの約3.6kmを先行して整備

▶ 地域の想いを国へ 12月14日(水)

自民党東三河県議団として、根本国土交通大臣政務官、石川国土交通省 道路局長へ東三河地域の幹線道路網の早期整備について要望。国道23号名豊道路蒲郡バイパス、151号一宮バイパス、宮下交差点、など地域の課題をしっかりと伝えました。



▶ 大村知事へ要望 12月1日(木)

- ① 豊川警察署及び豊川保健所の建替え
- ② 東三河環状線(大崎工区・三蔵子工区)の整備促進
- ③ 国道151号一宮バイパスの早期整備
- ④ 国道23号蒲郡バイパスの整備促進
- ⑤ 姫街道線の4車線化と鉄道立体交差区間の早期事業化
- ⑥ 都市計画道路国府赤根線のトンネル整備等
- ⑦ 魅力あふれる東三河ふるさと公園の整備促進
- ⑧ 三河港(御津ふ頭、臨港道路東三河臨海線)の整備促進
- ⑨ 地域の基幹病院の医師確保対策及び政策医療に対する支援
- ⑩ 土地改良事業の推進(防災ダム事業市田東池地区・宝地池地区・土地改良施設耐震対策事業東三河5期地区)

